

文 化 財

1 文化財保護事業

(1) 文化財保護審議会

第1回 平成20年4月22日(火) 大宮庁舎第2会議室

平成20年度京丹後市指定文化財について(諮問)、平成20年度文化財関係事業について、京丹後市指定文化財について(審議)、その他(京都府野生生物の保全に関する条例について)

第2回 平成20年6月18日(水) 大宮庁舎第2会議室

平成20年度京丹後市指定文化財答申について、平成20年度京丹後市指定文化財解除について、京丹後市新指定文化財について、その他(芸術・文化人調査研究事業について)

第3回 平成20年12月18日(木) 峰山庁舎2階第201会議室

平成20年度文化財関連事業について、平成21年度文化財関係予算について、京丹後市新指定文化財について、その他(視察研修について)

第4回 平成21年3月5日(火) 大宮庁舎第2会議室

平成20年度文化財関連事業について、網野郷土資料館のリニューアルについて、郷土の著名人について、京丹後市新指定文化財について、その他(文化財保護審議委員研修会について)

両丹文化財保護連絡協議会への参加

平成20年10月17日(金) 与謝野町加悦保健センター

平成20年度京丹後市文化財保護審議委員視察研修の開催

平成21年3月24日(火)～25日(水)

兵庫県立人と自然の博物館、兵庫県立考古博物館、
洲本市立文化資料館、北淡震災記念公園



兵庫県立人と自然の博物館視察状況

(2) 指定文化財等管理事業

ア 京丹後市指定文化財等補助金

交付件数 20件 交付金額 合計 2,700,000円

京丹後市内の市指定文化財や未指定文化財について、建造物の修理や保全施設の整備、民俗芸能等の道具、衣装の修繕などの事業に対して補助金の交付を行った。

イ 史跡等維持管理

件数 16件 金額 1,088,880円

市内に所在する国・府・市指定史跡等について、草刈り等の維持管理を実施した。

(3) 市史編さん事業

ア 市史編さん委員会

第6回 京都府立大学 文学部会議室

資料編『京丹後市の考古資料』の概要について、平成20年度予算について、これまでの進捗状況と今後の予定について、その他

イ 市史編さん資料調査

日程	内容	場所
4月23・24日	市内集落・民家調査	市内各所
4月29日～5月2日	社寺建築調査	大宮町他
4月30日～5月2日	民俗調査	丹後町間人、竹野、乗原
5月17日	自然・地理専門部会	京都府立大学
5月21日	近世史料調査	京都府立総合資料館
5月21・22日	市内集落・民家調査	市内各所
5月30・31日	市内集落・民家調査	市内各所
6月13・14日	近代史料調査	弥栄地域公民館
6月25日	美術調査下見	市内各所
6月28日	編さん委員会	京都府立大学
7月1日	美術調査下見	市内各所
7月15・16日	久美浜町内ボーリング調査	久美浜町甲山
7月21・22日	近代史料調査	弥栄地域公民館
7月23日	近世史料調査	京都府立総合資料館
7月24日	民俗専門部会	帝塚山大学
7月26日	自然・地理専門部会	佛教大学
7月30日	近世史料調査	京都府立総合資料館
7月31日	伝承専門部会	龍谷大学
8月2～4日	民俗調査	丹後町間人、竹野、乗原
8月6日	近世史料調査	京都府立総合資料館
8月17～19日	帝塚山大資料調査	丹後古代の里資料館

日程	内容	場所
8月25日	北野先生調査	市内各所
8月26日	北野先生調査	市内各所
8月28日	工芸品調査	丹後郷土資料館ほか
9月1～4日	寺院建築調査	大宮町内
9月2～4日	仏像調査	市内各所
9月17日	近世史料調査	京都府立総合資料館
9月25・26日	近代史料調査	網野郷土資料館
10月4～6日	民俗調査	丹後町袖志、牧の谷、宮
10月16・17日	植村先生現地調査	網野町内ほか
10月18日	縁城寺調査	峰山町橋木
10月27日	中世勉強会	京都府立大学
10月29日～11月2日	寺院建築調査	大宮町内
11月5日	近世史料調査	京都府立総合資料館
11月24・25日	近代史料調査	弥栄地域公民館
11月25～27日	建築調査	丹後町内
12月1日	伝承資料現地調査	丹後郷土資料館
12月1日	成願寺仏像調査	丹後郷土資料館
12月5日	豊岡市出石町文書調査	出石史料館
12月6～8日	民俗調査	丹後町内
12月19日	近世史料調査	大宮庁舎
12月20日	自然・地理専門部会	京都府立大学
12月20日	近世史料調査	大宮庁舎
12月21・22日	近世史料調査	大宮庁舎
1月26・27日	近代史料調査	弥栄地域公民館
3月5・6日	近世史料調査	京都府立総合資料館
3月9・10日	絵画調査	市内各所
3月15・16日	仏像調査	市内各所
3月30・31日	近代史料調査	弥栄地域公民館



市史編さん調査風景写真

(4) 埋蔵文化財

ア 埋蔵文化財発掘の届出件数 8件

イ 埋蔵文化財発掘調査・立会調査

発掘調査 5件

(文化財保護課実施分4件、(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター実施分1件)

立会調査 3件

ウ 埋蔵文化財出土遺物保存処理事業

経塚古墳(久美浜町布袋野)出土金属器の保存科学処理を財団法人元興寺文化財研究所に委託して実施した(国庫補助事業)。

エ 調査報告書の刊行

『平成20年度市内遺跡発掘調査報告書(京都府京丹后市文化財調査報告書第3集)』

平成21年3月30日刊行

森本大谷古墳群・森本大谷城跡(キ)および外村遺跡(ク)の発掘調査報告書

オ 網野銚子山古墳（国指定史跡）発掘調査

（ア）所在地 京丹後市網野町網野

（イ）概要

国指定史跡・銚子山古墳、第一、第二古墳（網野銚子山古墳、小銚子古墳、寛平法皇陵古墳）及び周辺地区の史跡整備に向け、保護範囲の再検討を視野に入れた範囲確認のため墳丘周辺の6ヶ所を調査した。（4ヵ年計画の2年目）

（ウ）現地調査期間 平成20年8月5日～平成21年1月22日

（エ）調査成果

- a 銚子山古墳の墳丘の調査では一部に良好に残存している葺石及び円筒埴輪の集積を検出。葺石の下には厚い裏込め石を確認し、過去の調査時に確認された様相と異なる。墳丘の場所により葺石の葺き方などが異なっている可能性がある。
- b 海側の古墳裾には周壕はなく、代わりに水平に削り周辺を整えている様子を確認。海から古墳を見た視点を意識した造作と思われる。
- c 小銚子古墳周辺について旧地形を示す手がかりを得た。一方では窪地地形が存在した部分があり、他方では地山を切り崩した部分があることが判明。銚子山古墳・小銚子古墳が築造された際の土地改変の一部ではないかと思われる。
- d 墳丘東側の農道の外側部分では、古墳周辺の関連施設は確認されなかった。



墳丘の斜面に葺かれた葺石



出土した丹後型円筒埴輪

カ 湧田山古墳（府指定史跡）発掘調査

（ア）所在地 京丹後市峰山町丹波・矢田

（イ）概要

古墳前方部の先端が自然崩落する可能性があることから、墳丘基底部の範囲及び状況を確認し保護対策の検討に資するため、墳丘斜面の1ヶ所を調査した。併せて墳丘の地形測量図を作成した。

（ウ）現地調査期間

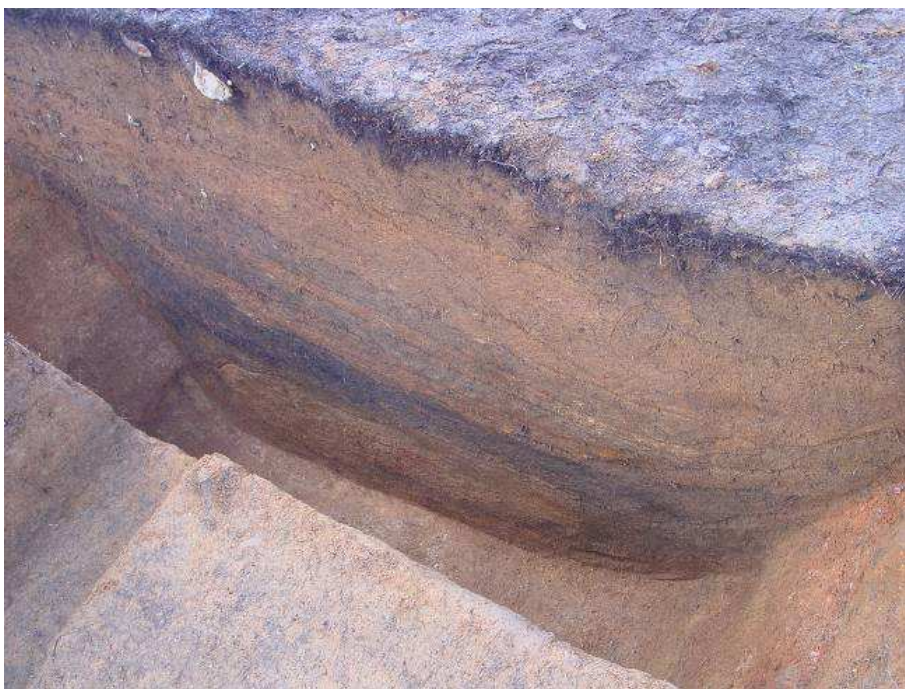
平成20年12月1日～平成21年1月23日

（エ）調査成果

- a 墳丘裾付近で幅4m、深さ2mの落込みを検出。昨年度検出された落込みと繋がる状況であることから、これらは環濠である可能性が強まった。また、環濠底付近からも土器片が出土し、環濠の時期は弥生時代のものである可能性が強まった。
- b 墳丘裾の明確な傾斜変換点は調査範囲内では明らかにできなかった。地形測量の結果から、標高52m付近と推定できるに留まる。
- c 墳丘斜面および後円部段築付近は地山を削りだして整形しており、埴輪・葺石など外表施設は存在しない可能性が強い。また、古墳築造以前の弥生墳墓の存在を示す切り離し溝などは調査区内からは検出されなかった。



調査トレンチ



環濠部分土層堆積状況

キ 森本大谷古墳群・森本大谷城跡発掘調査

(ア) 所在地 京丹後市大宮町森本

(イ) 概 要

森本工業団地造成に伴う道路建設工事に際して、工事予定範囲内に古墳および城跡と思われる地形を確認したため、記録保存のための発掘調査を実施した。

(ウ) 現地調査期間 平成 20 年 5 月 7 日～平成 20 年 8 月 25 日

(エ) 調査成果

- a 調査地内からははっきりした遺構は検出されなかった。
- b 森本大谷城跡の丘陵頂部は何らかの理由で削平されているものと考えられる
- c 森本大谷城跡の丘陵斜面で削平を受けた土壌と考えられる遺構を一部検出、かつてはこの丘陵上に古墳かそれに関連する施設があったものと思われる。



森本大谷古墳群



森本大谷城跡

ク 外村遺跡発掘調査

(ア) 所在地 京丹後市弥栄町外村

(イ) 概 要

特別養護老人ホーム建設工事に伴い、遺跡範囲確認のための試掘調査を実施した。

(ウ) 現地調査期間 平成 20 年 7 月 18 日

(エ) 調査成果

- a 調査地東側は、遺構遺物ともに見つからず自然堆積の状況であった。
- b 3 トレンチ中央部において、遺物包含層および9ヶ所のピットを検出した。
- c 調査地西側は、旧溝谷小学校校舎移転後に改変を受けていた。
- d 今回の調査地は、遺跡の中心部分ではないことが明らかになった。

(5) 普及啓発事業

ア 第37回丹後震災記念展

平成21年3月7日(土)～8日(日) 会場：丹後震災記念館 入場者218名

昭和2(1927)年3月7日に発生した北丹後地震(丹後震災)に関する展示。

あわせて8日(日)午前10時30分より第1回文化財セミナーを開催した。

【展示解説リーフレット】 「丹後震災記念館～建築とその後の展開」



第37回
丹後震災記念展
展示会場風景



第1回
文化財セミナー
開催風景

※丹後古代の里資料館・網野郷土資料館・琴引浜鳴き砂文化館の事業は、2に掲載。

イ 稲葉家展示活用事業

「豪商稲葉本家」内蔵（南宝蔵）を活用して展示を行い、あわせて本家2階を会場として講演会を実施した。また稲葉家文書収納のため、北宝蔵の改修工事を実施した。

(ア) 春期企画展示「稲葉本家の建築」

平成20年4月12日（土）～7月21日（月）

記念講演会 5月31日（土）午後1時30分～ 講師 京都府立大学教授 大場修先生
演題「稲葉本家はどのように建てられたのかー稲葉本家の特徴と普請過程ー」

(イ) コーナー展示「稲葉東 ～昭和前期の稲葉家～」

平成20年7月26日（土）～9月15日（日）

(ウ) 秋期企画展示「稲葉家の近代」

平成20年9月20日（土）～12月26日（金）

記念講演会 11月22日（土）午後1時30分～ 講師 大阪大学准教授 飯塚一幸先生
演題「稲葉家の近代と十二代稲葉市郎右衛門・宅蔵兄弟」

(エ) コーナー展示「結城素明と稲葉家」

平成21年1月5日（月）～2月15日（日）

あわせて結城素明「極彩色草花之図金屏風」を本家寝室にて展示

(オ) 稲葉本家御殿雛の展示（本家寝室）

平成21年2月21日（土）～3月31日（火）



春期企画展示

記念講演会風景

ウ 「京丹後史博士」育成講座

数多くの歴史資料を有する京丹後市の歴史について、資料を見て・触れて・読む機会を作り、郷土の歴史を体感してもらい、資料から歴史を読み取る方法を学ぶことを目的とした。併せて郷土愛を育み、文化財を通して人の交流と地域活性への原動力となる地域リーダーやサポーター作りを目的として講座を実施した。

講座は、外部講師および文化財保護課職員により、午後7時30分～9時に開催した。

Aブロック： 久美浜町 会場：久美浜市民局2階 第1会議室

番号	日 時	内 容	受講者数
A 1	6月12日(木)	函石浜遺跡の発見と織田考古館1	34人
A 2	6月19日(木)	函石浜遺跡の発見と織田考古館2	35人
A 3	6月26日(木)	函石浜遺跡について	32人

Bブロック：網野町 会場：あみの図書館ら・ぽーと2階 集会室

番号	日 時	内 容	受講者数
B 1	7月10日(木)	網野町内の神社建築と棟札	41人
B 2	7月17日(木)	網野周辺の郷土史研究～網野銚子山古墳をめぐって	34人
B 3	7月24日(木)	俵野廃寺の発掘調査について	41人

Cブロック：丹後町 会場：丹後市民局 第4会議室

番号	日 時	内 容	受講者数
C 1	8月7日(木)	古代丹後の人々―丹波直と丹後立国―	35人
C 2	8月21日(木)	丹後町の横穴式石室―大成・高山・上野古墳群―	26人
C 3	8月28日(木)	竹野郡の郷土史研究～明治時代から昭和前期	27人

Dブロック 大宮町 会場：アグリセンター大宮1階 視聴覚教養室

番号	日 時	内 容	受講者数
D 1	9月11日(木)	台状墓とはなにか	26人
D 2	9月18日(木)	永浜宇平の『丹後地震誌』編纂について	34人
D 3	9月25日(木)	土器・陶磁器について 中世・近世の器	29人

Eブロック 峰山町 会場：峰山地域公民館 講義室

番号	日 時	内 容	受講者数
E 1	10月16日(木)	扇谷遺跡を考える	34人
E 2	10月23日(木)	丹後丹波の薬師信仰	38人
E 3	10月30日(木)	丹後の狛犬	35人

Fブロック 弥栄町 会場：弥栄地域公民館2階 大会議室

番号	日 時	内 容	受講者数
F 1	11月13日(木)	遠處遺跡について	30人
F 2	11月20日(木)	谷奥古墳群の発掘調査成果—丹後地域における古墳秩序	27人
F 3	11月27日(木)	発掘された中世山城—シミズ谷城・矢田城・吉沢城跡—	31人

うち B3・E2・E3・F2 は外部講師
平成20年度延べ受講者数 589名

また講座受講数によって「文化財博士」等の認定を行った

「京丹後史博士」(10講座受講) 16名 「京丹後史講師」(15講座受講) 8名

「京丹後史修士」(20講座受講) 5名 「京丹後史学士」(25講座受講) 6名



エ 文化財セミナー

丹後の輝かしい歴史をひも解き、歴史の学習を通じて、京丹後市の歴史を学び、私たちの郷土に対する愛着と誇り、郷土愛を深めることを目的に文化財セミナーを開催した。

第1回 京丹後市文化財セミナー

平成 21 年 3 月 8 日（日） 10：30～12：00 丹後震災記念館 参加者 35 名

講演会「伊藤快彦の活動とその作品」 講 師 早稲田大学大学院生 石井香絵先生

講 座「丹後震災記念館～建築とその後の展開」文化財保護課職員

第2回 京丹後市文化財セミナー

平成 21 年 3 月 12 日（木） 19：30～21：00 アグリセンター大宮 大ホール

講演会「丹後の弥生王墓と巨大古墳」

講 師 京都府立丹後郷土資料館主査 奥村 清一郎先生 参加者 57 名



第2回京丹後市文化財セミナー

オ 講師派遣等

日 時	内 容
4 月 15 日	網野郷土文化保存会総会記念講演会
4 月 21 日	丹波の文化を伝承する会講演会「丹波村の古文書と矢田の長安寺の仏像について」

日 時	内 容
5月17日	中郡退職校園長会研修会
5月24日	丹波の文化を伝承する会現地見学会「吉原山城と峯山陣屋について」
6月～11月	網野郷土文化保存会『丹哥府志』を読む会
6月12日	カレッジ2期生見学会
6月16日	郷小学校6年生社会科授業
6月27日	鳥取小学校6年生総合的な学習の時間
6月27日・7月3日	峰山中学校1年生総合的な学習の時間
6月29日	神谷区公民館所蔵仏像説明会
7月12日	網野町ウィークエンド事業「トライ！ユタッコ仲間」第4回事業
7月13日	久美浜地域公民館「きょうたんご地域探訪」第2講座
8月3日	近畿文化会「丹波・丹後の洋風建築」現地見学
8月24日	須田区民交流会「古代の須田伯耆谷と古墳群」
8月28日	竹野小学校校内研修会
9月13日	田村むくどり子ども教室
9月21日	久美浜地域公民館「きょうたんご地域探訪」第3講座
9月24日	年金者組合丹後支部大宮町めぐり
9月27日	第2回「北京都丹後ふるさと検定」セミナー
9月28日	丹波の文化を伝承する会現地見学会「久美浜町の古墳・遺跡めぐり」
9月29日	周枳公民館歴史講座「穴穂部間人皇后の伝承と飛鳥時代の丹後」
10月15日	中郡退職校園長会視察研修会
10月20日	石川県能美市議会視察
10月23日	カレッジ2期生第5回見学会
10月25日	新山地区公民館「ちびっこ歴史探見たい」指導者研修会
11月7日	間人小学校6年生総合的な学習の時間「間人にまつわる伝説」
11月9日	新山地区公民館「ちびっこ歴史探見たい」現地見学会
11月15日	竹野郡曹洞宗道友会講演会「村のほとけたち」
1月17日	峯山藩フォーラム コーディネーター

小中学校の授業や地域・団体等からの派遣申請を受けて、職員を派遣した。

カ 鳴き砂サミット

琴引浜が国天然記念物及び名勝に指定されたことを記念し、京丹後市としては3回目になる「2008年全国鳴き砂サミット IN 京丹後」を開催。「琴引浜から考える。鳴き砂保護の今とこれから」をテーマに2日間にわたって熱心な討論が行われた。

平成20年10月18日（土）～19日（日） 参加者数150名



（6） 収蔵資料整理事業

ア 収蔵写真整理事業

各町で保管されていた古い写真を整理し、活用するために、写真のデジタルデータ化を実施。昭和30年代以降の風景や出来事の写真を中心に、本年度は、3,715点の写真のスキャニングを終了した。

実施期間 平成21年1～3月

イ 稲葉家文書整理事業

平成15～19年度に調査を実施し報告書が作成された稲葉家文書について、資料管理のためのラベル貼り付けが未了であった分を緊急雇用対策事業により実施した。約6,500点のラベル貼り付けが終了した。

実施期間 平成21年2～3月

2 文化財保護関係施設

(1) 京丹後市デジタルミュージアム

京丹後市内の指定文化財を紹介するHPを開設している。

URL : <http://www.city.kyotango.kyoto.jp/service/digitalmuseum/siteibunkazai/index.html>

(2) 琴引浜鳴き砂文化館

所在地 : 〒627-3112 京丹後市網野町掛津 56 TEL・FAX 72-5511

URL : <http://www.nakisuna.jp/>

入館料 : 大人 300 円・子供 100 円 (団体 15 名以上大人 200 円)

休館日 : 火曜日 (祝祭日の場合は翌日)・年末年始

平成 13 年 10 月オープン。木造 2 階建。財団法人日本ナショナルトラストが建設した施設で、18 年度からは指定管理制度を導入し掛津区が管理運営を行っている。琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図っている。

平成 20 年度入館者数 13,443 名。

(3) 丹後古代の里資料館

所在地 : 〒627-0228 京丹後市丹後町宮 108 TEL 75-2431 FAX 75-2432

URL : <http://www.city.kyotango.kyoto.jp/museum/kodainosato/>

入館料 : 大人 300 円・子供 150 円 (団体 15 名以上 : 大人 200 円・子供 100 円)

休館日 : 火曜日 (祝祭日の場合は翌日)・年末年始

平成 6 年 7 月オープン。鉄筋コンクリート 2 階建て (瓦葺)。常設展示室 1・企画展示室 1。公園に竪穴住居 3 棟・高床倉庫 1 棟 (木造) を復元。陶芸・勾玉作り・火起し体験が可能。京丹後市域の歴史・考古資料を中心とした展示・収集・保管を行っている。

平成 20 年度は、屋根修繕と展示解説モニター 2 台の更新を実施した。

ア 平成 20 年度事業

平成 20 年度 入館者数 4,394 名

(ア) コーナー展示 1 「郷土史の黎明～明治時代の丹後地域～」

平成 20 年 4 月 16 日 (水) ～ 7 月 6 日 (日) 入館者 1,333 名

ミュージアムトーク (展示解説) 5 月 25 日 (日) 12 名

ミュージアムトーク (展示解説) 6 月 15 日 (日) 9 名

(イ) コーナー展示2 「網野銚子山古墳の世界」

平成20年7月9日(水)～10月5日(日) 入館者798名

ミュージアムトーク(展示解説) 8月3日(日)12名

ミュージアムトーク(展示解説) 9月21日(日)14名

(ウ) 秋期特別展示「中世の城 ～史料と発掘調査から～」

平成20年10月9日(木)～11月9日(日) 【前期展示】

平成20年11月12日(水)～平成21年1月18日(日)【後期展示】入館者1,203名

ミュージアムトーク(展示解説) 11月2日(日)30名

ミュージアムトーク(展示解説) 11月2日(日)20名

(エ) コーナー展示3 「竹野遺跡を考える」

平成21年1月21日(水)～3月22日(日) 入館者371名

(オ) 古代の里まつり 平成20年11月16日(日) 入館者417名

陶埴(土笛)作り体験、勾玉づくり体験、民話紙芝居、火おこし体験



古代の里
まつり

イ 展示図録 秋期特別展示「中世の城～史料と発掘調査から～」

ウ 展示解説リーフレット

コーナー展示1 「郷土史の黎明～明治時代の丹後地域～」

コーナー展示2 「網野銚子山古墳の世界」

エ 減免申請 件数19件

(4) 網野郷土資料館

所在地：〒629-3241 京丹後市網野町木津 823 TEL・FAX 74-0044

URL：<http://www.city.kyotango.kyoto.jp/museum/aminokyodoshiryokan/index.htm>

入館料：大人 200 円・子供 100 円（団体 15 名以上大人 120 円・子供 60 円）

開館日：火・土・日曜日（ただし年末年始は休館）

旧木津小学校の校舎を利用して昭和 52 年オープン。木造 2 階建（瓦葺）。小学校の教室を転用した展示室。京丹後市域の民俗資料を中心に古文書・古書籍等の展示・収集・保管を行っている。秋季企画展示は、網野中学校生徒による展示コーナーを設けた。

ア 平成 20 年度事業

平成 20 年度入館者数 1,002 名

(ア) 夏季企画展示「昔のきもの」

平成 20 年 8 月 19 日（火）～25 日（月）入館者 91 名

(イ) 秋季企画展示「昭和のくらし」

平成 20 年 10 月 4 日（土）～11 月 23 日（日）入館者 410 名

(ウ) 冬季企画展示「あかりと暖房器具」

平成 20 年 12 月 6 日（土）～平成 21 年 2 月 28 日（土）入館者 84 名

(エ) 春をいろどる企画展「節句展」

平成 21 年 3 月 1 日（日）～31 日（火）入館者 58 名

(オ) 網野郷土資料館まつり 平成 20 年 11 月 2 日（日）入館者数 239 名

織りの実演、石臼体験、洗濯板体験、勾玉作り体験

(カ) 職場体験の受入 平成 20 年 10 月 2 日（木）～3 日（金）網野中学校



網野郷土資料館まつり風景

イ 減免申請 件数 12 件

3 指定文化財

(1) 京丹後市内指定・登録文化財件数一覧表

指定区分	国指定	国登録	府指定	府登録	市指定	合計
建造物	2	5	4	8	11	30
絵画			3		15	18
彫刻	2		2		10	14
工芸品	1		4		11	16
書跡					3	3
古文書			1	1	1	3
歴史資料			1			1
考古資料	3		5	1	9	18
無形民俗文化財			3	8	3	14
有形民俗文化財					1	1
史跡	5		6		16	27
遺跡					1	1
名勝	1		1		1	3
天然記念物	2		1		10	13
文化財環境保全地区			3		2	5
文化的景観			1			1
合計	16	5	35	18	94	168

(国指定考古資料1件・府指定考古資料2件は、京丹後市内出土であるが、京都府所蔵)

(2) 新指定文化財紹介

平成20年度は、市指定天然記念物として、市内にある樹木を新たに6点指定した。

また、琴引浜が国の天然記念物及び名勝の指定を受けたため、市の指定解除を行った。

ア 八幡神社（はちまんじんじゃ）ムクロジ

所在地 京丹後市峰山町鱒留小字大成 354

所有者 八幡神社

員数 1本

文化財種別 天然記念物

八幡神社は、創立時期は不詳であるが、宝暦13（1763）年～天保12（1842）年に編さんされた『丹哥府志（たんかふし）』に記されている古社である。ムクロジは中国から入って神社や寺に植栽されたものが野生化したといわれ、「八幡神社ムクロジ」は樹齢400年程度と推測され、全国トップクラスの大きさである。

イ 生王部神社（いくおうべじんじゃ）スダジイ

所在地 京丹後市網野町生野内小字下大クゴ 443

所有者 生王部神社

員数 1本

文化財種別 天然記念物

「生王部神社スダジイ」は樹齢300年以上と推定され、神木として歴代保護されてきたものと思われる。平成3年に京都の自然200選、網野町ふるさと自慢100選にも選定されている京丹後市内最大のシイノキである。

ウ 迎接寺（こうじょうじ）跡シイ（ツブラジイ）

所在地 京丹後市久美浜町湊宮小字空下 343-1

所有者 京都府

員数 1本

文化財種別 天然記念物

迎接寺は熊野郡誌にその記述が見られ、かつては中世山林寺院として隆盛を極めた。「迎接寺跡シイ（ツブラジイ）」は、樹齢300年程度と推測され、ツブラジイとしては京丹後市内最大のものである。

エ 霧の宮神社八岐杉（やつまたすぎ）

所在地 京丹後市大宮町五十河小字瀬戸道 415

所有者 霧の宮神社

員数 1本

文化財種別 天然記念物

「霧の宮神社八岐杉」は境内地に植樹されたものと考えられ、樹齢は300～350年と推定される。まっすぐに伸びた幹が途中から8本立ちになるという特異な樹形が最大の特徴である。平成3年に大宮町の名木30選に選ばれている。



霧の宮神社八岐杉

オ 峰山陣屋（みねやまじんや）跡エノキ

所在地 京丹後市峰山町吉原 97-2

所有者 京丹後市

員数 1本

文化財種別 天然記念物

峰山陣屋は、『峰山郷土史』によると元和8（1622）年に吉原山城のふもとに整備されたという記述が残る。「峰山陣屋跡エノキ」は、樹冠投影面積が1000㎡にもおよび、その枝ぶりが最大の特徴である。樹齢は250～300年と推定される。

カ 雲松寺（うんしょうじ）跡タラヨウ

所在地 京丹後市久美浜町小桑小字前田 532

所有者 報徳一心社

員数 1本

文化財種別 天然記念物

『熊野郡誌』によると、雲松寺は寛永5（1629）年に伽藍を建立したとの記述が残る。タラヨウは葉の裏に尖ったもので字を書くとやがて黒く浮き上がることから葉書の木、手紙の木とも呼ばれる。「雲松寺跡タラヨウ」は樹齢200年以上と推定され、全国巨木ランキングでも上位に入る。